

こどもの居場所づくりの支援

【予算額】61,623千円

一部新規

担当 少子政策課 ひとり親・子供の未来応援担当
内線 3348

目的

貧困の連鎖を解消するため、こども食堂などのこどもの居場所の立ち上げと継続的な運営等を包括的に支援する。

事業概要

1 こどもの居場所づくりの支援

61,623千円

寄附募集事業

(1) こどもの居場所づくりの支援 (一部拡充) 24,512千円

ア こどもの居場所づくり支援事業

こどもの居場所の認知拡大及び潜在的な担い手、支援者の掘り起こしのため、「こどもの居場所フェア」を開催する。
また、「こどもの居場所づくりアドバイザー」を各地域に派遣し、こどもの居場所の新規立ち上げ等を支援する。

新規・拡充内容

▶ こどもの居場所フェアの開催【拡充】

開催規模・実施内容を拡充し、こどもの居場所の体験、居場所運営者と支援者の交流会などを行う

(2) 地域ネットワークの支援 (新規) 28,111千円

イ こどもの居場所等地域ネットワークの支援事業

物資の保管や輸送などを市町村単位で行う「地域ネットワーク」の立ち上げを支援する。

新規・拡充内容

▶ 多様な主体が関わるプラットフォーム「地域ネットワーク」の形成促進【新規】

こどもの居場所等の安定した運営を支える「地域ネットワーク」の立ち上げに係る費用を補助する

(3) 市町村に対する支援 (新規) 9,000千円

ウ 地域におけるこどもの居場所支援団体の育成事業

市町村と地域をつなぐ機能を持つこどもの居場所支援機能を持つ団体をモデル的に育成する。

新規・拡充内容

▶ 市町村によるこどもの居場所づくり支援体制の確立【新規】

市町村と民間が協働してこどもの居場所に関する地域の課題解決と支援を目指すモデル事業を実施する費用を補助する

こども食堂応援プロジェクト

背景・現状

◆「こどもの居場所」の可能性

民間主導の取組であるこども食堂、学習支援、プレーパーク、多世代交流拠点などの「こどもの居場所」は、食べたり遊んだりするだけでなく、こどもが信頼できる大人と出会うことで自己肯定感を高めることが期待できるなど、社会全体でこどもを育てる拠点として、様々な可能性を秘めています。

◆ 埼玉県としてできること

全てのこどもが生まれ育った環境に左右されず同じスタートラインに立てる社会を目指し、こどもの居場所づくりを行う民間団体等の応援します。

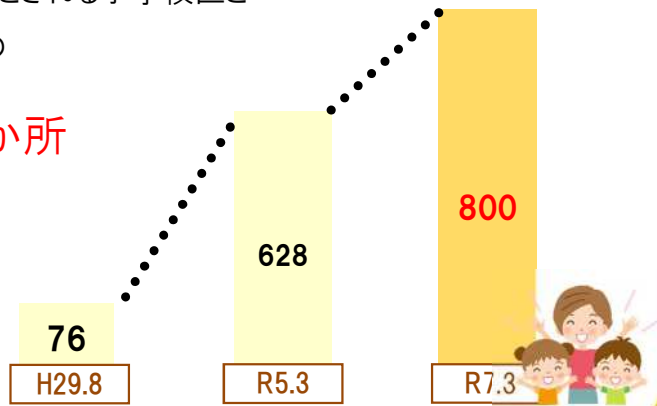
事業目標

埼玉県のこどもの居場所数

- ◆こどもが安全に歩いて通える距離とされる小学校区と同数程度の

800か所

を目指す



事業内容

こどもの居場所フェアの開催

- ◆ こども食堂やプレーパークなど、こどもの居場所を体験
- ◆ こどもの居場所の運営者×企業等団体のマッチング交流会

掘り起こし

認知拡大

支援者

担い手

マッチング推進

ポータルサイトによるマッチング掲示板を通じて、支援したい企業・団体と、こどもの居場所団体が気軽に情報交換



アドバイザー派遣

専門的な知識・経験を持った個人・団体をアドバイザーとして派遣し、こどもの居場所の立ち上げ・継続的な活動を支援



派遣

